

製品安全データシート

作製日 平成22年1月26日

1. 製品及び 会社情報	製品名：ノンスリップコート (用途：床用樹脂ワックス) 会社情報 社名：株式会社 リスダンケミカル 住所：東京都豊島区池袋3-26-15 担当 部門：埼玉工場 技術部 電話 番号：048-569-3133 FAX：048-569-3134 緊急連絡先：営業部電話番号 03-3984-5578		
2. 組成、成分情報	単一製品・混合物の区別：混合物		
	成分(化学名)	含有量(%)	備考
	アクリル変性樹脂	15~20	
	成膜助剤	5~10	
	可塑剤	2.0~5.0	
	アルカリ可溶性樹脂	1.0~3.0	
	水	65~75	
	計	100%	
3. 危険・有害性の 要約	危険性：危険物に該当しない。 有害性：標準使用では人体への有害性は低い。 環境影響情報：原液を一般環境内に排出させない。		
4. 応急処置	目に入った場合：直ちに多量の清浄水で15分以上洗眼する。速やかに医師の手当てを受ける。 皮膚に付着した場合：水及び石けんまたは皮膚用の洗剤を用いて洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の手当てを受ける。 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にする。必要があれば、医師の手当てを受ける。本製品は揮発性の低い水溶性液体であり、蒸気吸入の可能性は少ない。 飲み込んだ場合：直ちに水で口の中を洗浄した後、直ちに医師の手当てを受ける。意識のない時は無理に吐かせない。		
5. 火災時の 措置	消火方法：適切な保護具を着用する。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。指定の消火剤を使用する。本製品は引火しない。 消火剤：水、粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂等。		
6. 漏出時の 措置	少量の場合：砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。 多量の場合：土嚢等で流出を防ぎ、砂、土、ウエス等に吸収させて回収する。地面、下溝や河川等に流入しない様に注意する。 漏出時の措置に当たっては、必ず保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)着用の上、措置作業を行うこと。		
7. 取り扱い、及び保 管上の注意	取り扱い 技術的対策及び注意事項、安全取り扱い注意事項 ・ 換気の良い場所で取り扱う。 ・ 保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。 ・ 容器はその都度閉栓する。 保管 技術的対策及び保管条件 ・ 火気熱源から遠ざけて保管する。 ・ 気密容器にて、温度、湿度、遮光に注意し、冷暗所に保管する。 ・ 水禁忌性物質との同一場所保管を避ける。		

8. 暴露防止及び保護措置	設備対策：屋内作業の場合、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備とする。 保護具：眼の保護 必要に応じて保護眼鏡（ゴーグル型）。 呼吸の保護：保護マスクを着用する。 皮膚の保護：皮膚を露出しない着衣、必要に応じてゴム手袋、ゴム長靴、ゴム前掛け。
9. 物理/化学的性質	外観等：乳白色液体 沸点：約100℃ 融点：0℃以下 pH：8.0±1.0（20℃） 密度（比重として）：1.03±0.01 g/cm³（20℃） 引火点：なし 溶解性：水と任意の割合で溶解。 粘度：10mPa・s 以下（20℃）
10. 安定性・反応性	引火性：該当せず。 可燃性：該当せず。 自己反応性：通常の条件・取扱いにおいて安定である。 爆発性：該当せず。 粉塵爆発性：該当せず。 酸化性：該当せず。
11. 有害性情報	刺激性：皮膚に直接触れると、刺激性がある。眼・鼻のどの粘膜に繰り返し接触すると炎症を起こす。 急性毒性：データなし 感作性：データなし 慢性・長期毒性：データなし 局所効果：データなし。
12. 環境影響情報	残留性／分解性：データなし BOD：データなし COD：データなし 生体蓄積性：データなし 魚毒性：データなし その他：一般環境内には廃棄しない。
13. 廃棄上の注意	廃棄物処理の関係法規に基づき処理する。 容器、洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
14. 輸送上の注意	取扱い及び保管上の注意の項記載に従う。 容器より漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷等がないように積み込み荷崩れ防止を行う。
15. 適用法令	労働安全衛生法：該当せず PRT法：該当せず 消防法：該当せず 危険物船舶運送及び貯蔵規則：該当せず 航空法：該当せず 毒物及び劇物取締法：該当せず
16. その他の情報	引用文献 「14504の化学物質」 化学工業日報社 「製品安全データシートの製作指針」 日本化学工業会
	記載内容の問い合わせ先：営業部 TEL：03-3984-5578 FAX：03-3984-5510 ここに記載している情報は当該製品の性質を保証するものではありません。この製品安全データシートは現在までの知識や経験に基づいて作成している為、危険性、有害性等の評価は必ずしも充分ではありませんので取り扱いには充分ご注意下さい。